

平成24年2月27日
北海道開発局

**パブリックコメント等を踏まえた
利水対策案(流水の正常な機能の維持)の概略検討(案)について
(沙流川流域)**

前回までの概略検討結果 (流水の正常な機能の維持対策案)(1/3)

No.	対策案	完成までに要する費用(概算)	地域社会への影響、実現性など
0	平取ダム	約70億円	・ 民有地の買収及び家屋移転が完了している
1	河道外貯留施設	約300億円	・ 貯水池設置に伴い用地買収が必要となる ・ 地質・環境等の調査が必要となる
2	ダム再開発(かさ上げ) 二風谷ダム	約100億円	・ かさ上げに伴い、用地買収が必要となる ・ ダム構造等技術的な検討や地質・環境等の調査が必要となる ・ 工事期間中における洪水調節、安定的な利水補給に配慮する必要がある ・ 関係者との調整が必要となる
3	ダム再開発(かさ上げ) 岩知志ダム	約400億円	・ かさ上げに伴い、用地買収が必要となる ・ ダム構造等技術的な検討や地質・環境等の調査が必要となる ・ 工事期間中におけるダムの運用に配慮する必要がある ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる
4	ダム再開発(掘削) 二風谷ダム	約300億円	・ 必要な容量を維持していくために、掘削が必要となる ・ 工事期間中における洪水調節、安定的な利水補給に配慮する必要がある ・ 関係者との調整が必要となる
5	地下水取水	約400億円	・ 井戸や導水施設等の設置に伴い、用地買収が必要となる ・ 既存井戸や地盤沈下等の影響について検討が必要となる。 ・ 伏流水や河川水への影響のほか、地質や水質についても調査が必要となる
8	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+ 河道外貯留施設	不確定	・ 必要な容量を維持していくために、掘削が必要となる ・ 工事期間中におけるダムの運用に配慮する必要がある ・ 貯水池設置に伴い、用地買収が必要となる ・ 地質や環境等の調査が必要となる ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる
9	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+ 地下水取水	不確定	・ 必要な容量を維持していくために、掘削が必要となる ・ 工事期間中におけるダムの運用に配慮する必要がある ・ 井戸や導水施設等の設置に伴い、用地買収が必要となる ・ 既存井戸や地盤沈下等の影響について検討が必要となる。 ・ 伏流水や河川水への影響のほか、地質や水質についても調査が必要となる ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる

前回までの概略検討結果 (流水の正常な機能の維持対策案)(2/3)

No.	対策案	完成までに要する費用(概算)	地域社会への影響、実現性など
10	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+ため池	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な容量を維持していくために、掘削が必要となる ・工事期間中におけるダムの運用に配慮する必要がある ・ため池の設置に伴い、用地買収が必要となる ・地質や環境等の調査が必要となる ・雨水あるいは地区内の流水により必要量を確保することが可能か調査が必要となる ・関係者や施設管理者との調整が必要となる
11	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+水系間導水	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な容量を維持していくために、掘削が必要となる ・工事期間中におけるダムの運用に配慮する必要がある ・鶴川からの導水増加や新冠川への導水減少による発電への影響を検討する必要がある ・鶴川への影響について検討する必要がある ・関係者や施設管理者との調整が必要となる
12	水系間導水+河道外貯留施設	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川からの導水増加や新冠川への導水減少による発電への影響を検討する必要がある ・鶴川への影響について検討する必要がある ・貯水池設置に伴い、用地買収が必要となる。 ・地質や環境等の調査が必要となる ・関係者や施設管理者との調整が必要となる
13	水系間導水+地下水取水	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川からの導水増加や新冠川への導水減少による発電への影響を検討する必要がある ・鶴川への影響について検討する必要がある ・井戸や導水施設等の設置に伴い、用地買収が必要となる ・既存井戸や地盤沈下等の影響について検討が必要となる。 ・伏流水や河川水への影響のほか、地質や水質についても調査が必要となる ・関係者や施設管理者との調整が必要となる
14	水系間導水+ため池	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川からの導水増加や新冠川への導水減少による発電への影響を検討する必要がある ・鶴川への影響について検討する必要がある ・ため池の設置に伴い、用地買収が必要となる ・地質や環境等の調査が必要となる ・雨水あるいは地区内の流水により必要量を確保することが可能か調査が必要となる ・関係者や施設管理者との調整が必要となる

前回までの概略検討結果 (流水の正常な機能の維持対策案)(3/3)

No.	対策案	完成までに要する費用(概算)	地域社会への影響、実現性など
15	水系間導水＋ 他用途ダム容量の買い上げ	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴川からの導水増加や新冠川への導水減少による発電への影響を検討する必要がある ・ 鶴川への影響について検討する必要がある ・ 発電容量の一部を買い上げるため、発電への影響を検討する必要がある ・ 工事期間中におけるダムの運用に配慮する必要がある ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる
16	他用途ダム容量買い上げ＋ 河道外貯留施設	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電容量を買い上げるため、発電への影響を検討する必要がある ・ 貯水池設置に伴い、用地買収が必要となる。 ・ 地質や環境等の調査が必要となる ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる
17	他用途ダム容量の買い上げ＋ 地下水取水	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電容量を買い上げるため、発電への影響を検討する必要がある ・ 井戸や導水施設等の設置に伴い、用地買収が必要となる ・ 既存井戸や地盤沈下等の影響について検討が必要となる。 ・ 伏流水や河川水への影響のほか、地質や水質についても調査が必要となる ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる
18	他用途ダム容量の買い上げ＋ ため池	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電容量を買い上げるため、発電への影響を検討する必要がある ・ ため池の設置に伴い、用地買収が必要となる ・ 地質や環境等の調査が必要となる ・ 雨水あるいは地区内の流水により必要量を確保することが可能か調査が必要となる ・ 関係者や施設管理者との調整が必要となる
19	既得水利の合理化	不確定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水利権更新毎に用途別の必要流量については、適切に審査されている ・ かんがい用水については、これまでも老朽化等への対策が図られている ・ 関係者との調整が必要となる

【関係者（関係河川使用者）】

○流水の正常な機能の維持対策案No. 3、No. 8～18

- ・ 関係河川使用者（利水対策案を構成する施設の管理者や関係者）に、第3回検討の場の概略検討において抽出した流水の正常な機能の維持対策案について意見聴取を行った。
- ⇒ 流水の正常な機能の維持対策案抽出にあたり、No. 3、No. 8～18の案を構成する各施設管理者に当該案に対する見解について意見を聴いたところ、各施設管理者の利水計画に支障を与えることから同意できないとの回答があった。

【関係者（関係する事業者）】

○流水の正常な機能の維持対策案No. 19（既得水利の合理化・転用）

- ・ 関係する事業者には既得水利の合理化・転用にかかる事業予定等の見通しを聞いた。
- ⇒ 現時点ではこれらの見込みはなかったため、概略検討において棄却する。

【構成員、パブリックコメント】

○第3回検討の場の概略検討で棄却した流水の正常な機能対策案へのご意見

- ・ 検討の場でのご意見 : 支持するご意見はなし
- ・ パブリックコメントでのご意見 : 支持するご意見はなし
- ⇒ 第3回検討の場の概略検討で棄却した流水の正常な機能の維持対策案は、評価軸ごとの評価を行う対策案としない。

○新たな新規利水対策案の提案（パブリックコメント）

- ・ パブリックコメントでの提案 : 提案なし

No.	対策案	概略検討による抽出		
		完成までに要する費用(概算)	抽出	不適当と考えられる評価軸とその理由
0	平取ダム	約70億円		
1	河道外貯留施設	約300億円	○	
2	ダム再開発(かさ上げ)二風谷ダム	約100億円	○	
3	ダム再開発(かさ上げ)岩知志ダム	約400億円		・実現性 ・岩知志ダムの施設管理者から、「長期間に及ぶ継続的な掘削工事となることが予想される。掘削工事期間中は、岩知志発電所長期停止による発電量の損失により貴重な水力エネルギーを失うものであり、本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
4	ダム再開発(掘削)二風谷ダム	約300億円		・コスト ・同じ二風谷ダムの再開発である対策案2よりもコストが高い。
5	地下水取水	約400億円	○	
8	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+河道外貯留施設	不確定		・実現性 ・岩知志ダムの施設管理者から、「長期間に及ぶ継続的な掘削工事となることが予想される。掘削工事期間中は、岩知志発電所長期停止による発電量の損失により貴重な水力エネルギーを失うものであり、本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
9	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+地下水取水	不確定		・実現性 ・岩知志ダムの施設管理者から、「長期間に及ぶ継続的な掘削工事となることが予想される。掘削工事期間中は、岩知志発電所長期停止による発電量の損失により貴重な水力エネルギーを失うものであり、本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
10	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+ため池	不確定		・実現性 ・岩知志ダムの施設管理者から、「長期間に及ぶ継続的な掘削工事となることが予想される。掘削工事期間中は、岩知志発電所長期停止による発電量の損失により貴重な水力エネルギーを失うものであり、本対策案に対しては同意できない」との回答があった。

No.	対策案	概略検討による抽出		
		完成までに要する費用(概算)	抽出	不適当と考えられる評価軸とその理由
1 1	ダム再開発(掘削)岩知志ダム+水系間導水	不確定		・実現性 ・岩知志ダム及び水系間導水施設の管理者からそれぞれ、「長期間に及ぶ継続的な掘削工事となることが予想される。掘削工事期間中は、岩知志発電所長期停止による発電量の損失により貴重な水力エネルギーを失うものであり、本対策案に対しては同意できない」、「会社の発電事業に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対して同意できない」との回答があった。
1 2	水系間導水+河道外貯留施設	不確定		・実現性 ・水系間導水の施設管理者から、「会社の発電事業に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対して同意できない」との回答があった。
1 3	水系間導水+地下水取水	不確定		・実現性 ・水系間導水の施設管理者から、「会社の発電事業に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対して同意できない」との回答があった。
1 4	水系間導水+ため池	不確定		・実現性 ・水系間導水の施設管理者から、「会社の発電事業に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対して同意できない」との回答があった。
1 5	水系間導水+他用途ダム容量買い上げ	不確定		・実現性 ・水系間導水及び岩知志ダムと奥沙流ダムの施設管理者からそれぞれ、「会社の発電事業に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対して同意できない」、「電力の安定供給に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
1 6	他用途ダム容量買い上げ+河道外貯留施設	不確定		・実現性 ・岩知志ダムと奥沙流ダムの施設管理者から、「電力の安定供給に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
1 7	他用途ダム容量買い上げ+地下水取水	不確定		・実現性 ・岩知志ダムと奥沙流ダムの施設管理者から、「電力の安定供給に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
1 8	他用途ダム容量買い上げ+ため池	不確定		・実現性 ・岩知志ダムと奥沙流ダムの施設管理者から、「電力の安定供給に大きな影響を与える可能性がある本対策案に対しては同意できない」との回答があった。
1 9	既得水利の合理化・転用	不確定		・実現性 ・新たな合理化の予定が無いことから、必要量を確保する見込みがない。

評価軸ごとの評価を行う流水の正常な機能の維持対策案は、次の4案とする。

対策案	対策の概要
ダム案：平取ダム	平取ダムによって、平取地点で概ね11m ³ /sの流水の正常な機能の維持に必要な流量を確保する。
河道外貯留施設案：河道外貯留施設	二風谷ダム上流に河道外貯留施設を建設し、河川の流水を導水し貯留することにより、平取地点で概ね11m ³ /sの流水の正常な機能の維持に必要な流量を確保する。
ダム再開発案：二風谷ダムかさ上げ	既設ダム(二風谷ダム)をかさ上げすることにより、平取地点で概ね11m ³ /sの流水の正常な機能の維持に必要な流量を確保する。
地下水取水案：地下水取水	井戸の新設により、平取地点で概ね11m ³ /sの流水の正常な機能の維持に必要な流量を確保する。